

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	YCC香里園教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	種々の資格を有するスタッフを配置し、様々な視点から学習支援を行うことができる。	様々な専門的な知識をもつスタッフが在籍できるような人員配置を行っています。課題の検討を行うにあたり、各々の専門性を発揮しつつ、知識の共有化が図れるよう、毎日ミーティングを行いながら、様々な視点で話し合いを行っています。	保護者様のお迎えの際には、その日の活動がどんな様子であったか、取り組んでいる課題がどのような意図・狙いを持っているのかを伝えられるように、日々研鑽を行っています。
2	個別担当制のため、ご利用者様一人お一人合わせた支援を行っています。また、学習面に限らず日常生活で活用できる学びやコミュニケーションなどSST支援も行うことで、しっかりと伝える・復習する・ステップアップするなどのきめ細かい支援を心がけております。	ご利用者様の得意・苦手を把握して寄り添える支援を行っています。また、課題の達成にのみこだわりのではなく、話したい気持ちの時には話せることなど、担当制だからこそその気持ちへの寄り添いも大切にしています。	日常生活で活用できる学びのサポートができるように、学校学習のみならず、生活やコミュニケーションに役立つ知識や経験の向上につながるよう、その手立ての充実を図って参ります。
3	「学ぶ」と共に、お子さまにとっての「好きな居場所」であること	自信は、周囲からの評価や自身の体験も影響すると捉え、ご利用者様それぞれの頑張りや達成に対してポジティブな評価を伝えることで、自尊心や自信の向上につなげるかかわりを大切にしております。また、小集団での遊びの時間を設け、誰もが受け入れを感じられる場作りを目指しています。	お子さまひとりひとりに応じた「学習課題」の種類の研究開発、小集団のムードに適した「ゲーム」の充実化を図り、より自信が深められるよう、より楽しさを感じていただけるよう、不断の取り組みを続けます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会の少なさ	個別支援を中心とした事業の性質上、不特定者との交流を必ずしも必要とされない方がいらっしゃることもあり、交流機会の促進は馴染まないところがあると考えています。	個人情報の保護、及び希望者という前提にはなりますが、「学び」の一環として、世代間交流や機関交流の機会の検討は進めて参ります。
2	送迎サービスを行っていない	時間割制の個別支援型の事業形態であることから、ご利用にあたっての送迎サービスは行っておらず、原則保護者様による送迎をお願いしております。	送迎サービスの導入の予定はありませんが、送迎が難しい事情に備え、移動支援サービスなど各種福祉サービスとの連携を模索します。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		YCCもこもこ香里園教室		公表日		令和8年 4月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		2026年1月に事業所の移転を行い、発達支援室がより広くなり、より適切な活動スペースを確保しています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		必要人員に加え、指導員及び専門人材を配置しており、ご利用者様が安心してご利用いただけるよう努めています。	スタッフの性別や専門分野によっても関係性が変わりうることは認識し、スタッフ全体での理解に努めています。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		玄関と支援室のカーペットの色を分けて、活動場所がわかりやすい工夫をしています。また、学習支援の机は、視覚的な刺激を低減できるよう、机を囲む形態のものを使用しています。	施設内はバリアフリー化されていますが、事業所が2階のため、階段があります。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		利用時間枠ごとに活動場所の清掃・消毒を行っています。学習と小集団活動の場所を分けており、適切な空間の確保を行っております。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		学習支援室とは別に、相談や静養ができる別室を準備しており、必要に応じて利用できるようになっています。	部屋数が限られているため、同時に別室の利用希望があった場合に制限が生じる可能性があります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		目標→支援→気づき→共有→アセスメント→検討→新たな目標設定の流れについて、全職員共通認識の上で事業を行っております。	曜日により勤務するスタッフが異なることから、共有と集約に工夫を要します。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		全ご利用者様に事業所への評価についてご意見を賜り、課題を認識し、その改善策について懸賞と実施を行っています。また、随時ご要望やご意見を承っております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の共有会議、例月の振り返り会議を通して、業務への気づきの共有を行っております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	法人としての第三者による外部評価制度は導入していませんが、事業所内、事業所間で確認された課題の把握に努め、都度対応しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員の資質の向上を目的として、様々なテーマの研修を月2回以上実施しています。原則録画しており、勤務日でない職員も学べるようになっています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所のホームページにおいて、支援プログラムの公表を行っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		月ごとに目標達成状況の評価を行うとともに、保護者様への面談、書面等での確認を通じて、ニーズを把握しています。それらを踏まえ、適切な計画の作成に努めています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画原案の作成に当たっては、実際に支援を行う児童指導員等が参画するとともに、個別支援会議の場において、全体的に検討を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		上記のとおり計画の全体共有を図っており、計画に沿った支援を実施しております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所共通のアセスメントツールを活用するとともに、日々の支援においても表情や態度など児童の変化に気を払い、アセスメントとしています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	「本人支援」は、利用するすべての児童にいわゆる5領域に留意した支援を実施しており、個別支援計画にも位置づけています。「家族支援」は、児童の家族の安心も大切と捉え、家族からのあらゆる相談に応じる体制を講じています。「移行支援」は、進路に関する相談や情報提供を積極的に行い、必要に応じて移行先との連携も行っています。「地域支援・地域連携」は、保護者のニーズに応じて、学校等連携を行っています。	移行・地域支援においては、対象が限定的なことから、より広範な連携促進を図っていくためにも、積極的な情報提供に努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	支援開始前に全職員でミーティングを行っており、個人、小集団の特徴に合わせた活動プログラムを実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	個々の目標の達成に向け、ひとりひとりに合わせた活動プログラムを実施しています。	課題や遊びの単調化を防ぐため、別の教室と定期的に物品の情報交換及びのやりとりを行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	ご利用者のニーズや年齢を考慮してクラスを設定し、そのクラスに合わせた個別活動、小集団活動を展開しており、計画にも反映しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援開始前に全職員でミーティングを行っており、個人、小集団の特徴に合わせた活動プログラムを実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	全体の支援の終了後、担当児童についての気づきや、小集団活動での各児童の様子を共有し、次回以降の支援の改善点の検討を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	毎回の支援の様子について記録し、児発管の確認後、毎月保護者様にお渡ししております。気づきを共有し、常により良い支援を目指します。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	個々の計画の目標に向けた支援を実施できているか、ご利用者様全員について定期的にモニタリングを実施しており、適宜計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、生活技能の向上は支援内容に取り入れています。ですが、地域交流の機会の提供は現状限定的となっております。	個別支援を主軸とした支援形態ということもあり、地域交流はなじまない側面がありますが、個人情報に配慮した交流の形についての検討は行って参ります。
関係機関や保護者との	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	一方的な支援ではなく、ご利用者様の「好き」や興味、ニーズを踏まえ、スタッフとのかかわりを通じて自発的な活動に繋がるよう、支援を行っています。	明確なニーズ把握が難しいご利用者様は、保護者様より普段の様子を伺うなどの情報収集を行い、精度を上げるよう努めます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	機関連携会議に当たっては、児発管が必ず参画し、可能な限り、担当者が帯同することとしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	ご利用者様に係る関係機関との連携については計画に明示しており、保護者様のご了承がある限りにおいて、適宜連携を行っております。	行政等保健福祉教育側からの照会は限定的であるものの、連携に応じる体制は整えております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	保護者様のご了承のもと、学校等との連絡・連携を適宜行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	現在のご利用者様の構成上、保育所等就学前機関との連携機会はありませんが、保護者様からのニーズがあれば、積極的に連携を図ります。	就学前所属機関との情報連携は限定的ですが、適宜の共有を通じて、相互理解を深めたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	ご利用者様及び保護者様からのご希望がございましたら、障害福祉サービス事業所等への情報提供を行います。	学校卒業後の福祉サービス機関とも、今後適宜の共有を通じて、情報連携を図ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	地域の児童発達支援センター主催の研修会等に参加しています。また、通所支援事業所外の支援を要すると想定される事案においては、保護者様の了承のもと、地域児童発達支援センターへの相談を想定しています。	

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	個別支援型の事業の性質上、地域機関との交流を望まれない場合もあるため、現在のところ、事業所としての交流活動は行っていません。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○	市の自立支援協議会自体への参画はありませんが、協議会主催の関連事業への参加には努めています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	保護者様のお迎えの際に、その日の活動についてお伝えし、ご心配点をお伺いしております。ご相談は随時承っており、善後策の検討を行います。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	事業所として、ペアレントトレーニングをテーマとした保護者研修会を実施しております。参加は希望制です。また、関連する研修会のご案内も、随時行っています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に、重要事項説明書による丁寧な説明を心がけております。また、不明な点はいつでもお問い合わせいただけるようお知らせしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	計画作成に当たっては、事前に保護者様、ご利用者様のニーズを確認することとしており、それを踏まえた目標設定を行っております。また、計画自体にニーズを記載しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	保護者様への計画の説明提案は、原則、児童発達支援管理責任者が責任をもって行っており、ご納得いただいた上で、ご署名をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	事業所外のこどもも含めた保護者様の様々なご心配について、内容に制限を設けることなく、随時ご相談を承っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	事業所主催で保護者交流会を実施しており、スタッフをファシリテーターとし、保護者様同士の意見交流の機会を設けています。きょうだい交流を自当とした機会の提供はありませんが、今後ご希望があれば、企画して参ります。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	契約時の重要事項説明において、苦情などの相談先として、事業所、市、大阪府社会福祉協議会の相談窓口を明示しています。また、事業所へのご意見は随時受付であることを周知しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	インスタグラムやホームページ等で事業所の取り組みの発信を行っています。また、個別の連絡事項については、希望者に対してLINEを活用しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	法人としての個人情報保護方針を定めており、了承なしの外部への情報提供の禁止、個人ファイルの鍵付きロッカーへの保管、PCデータの専用サーバー保存など、対策を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	拡大版契約書やICT機器の活用、支援のための空間保持や物品の選定等、想定される合理的配慮に努めております。不十分さが確認された場合、速やかに対策を行います。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	個別支援型の事業の性質上、個人情報の関係もあり、地域との交流を狙いとした事業は馴染みにくいと考えますが、行政主催の事業には参画しています。	個人情報に配慮の上で、地域の交流のイベントの周知など、参加を希望される方が参加しやすい環境づくりに努めます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを策定し、関係者への周知及び発生時の役割分担等の想定を行っています。また、職員を対象とした関連する研修を適宜実施しています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	感染症並びに自然災害における各BCPを定めるとともに、安全計画に基づく物品確認や研修実施、発生時の役割確認を定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	ご利用前の面談において、身体的状況及び緊急時の対応法について確認しています。その後新たな要配慮事項があれば、同様の確認を行います。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		上記確認事項に食物アレルギーの有無も含んでいます。医師からの指示書がある場合は、指示内容に沿った対応を行います。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業所の安全計画を作成し、事業所の安全管理面について定期的な確認を行い、安心安全な環境づくりに努めています。また、関連する事柄についての各研修会も適宜行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画について、保護様が随時確認できるよう、事業所内に掲示しております。保護者様に非常時の避難場所の周知し、ご利用者様には定期的な防災教育を実施しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		重大事故防止のための重要な取り組みと位置づけ、積極的な報告を奨励しています。報告内容は自事業所に限らず、法人全体の意識向上のために共有化し、毎年分析も行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		各事業所の管理者を委員として、法人としての虐待防止委員会を設置し、職員向け虐待防止マニュアルの策定や虐待防止研修の実施をしております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束（行動制限）は原則禁止ですが、やむを得ず適用する場合の3要件（切迫、非代替、一時）について、保護者様に契約時に明示し、同意を得るとともに、計画書にもその旨を掲示しています。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 YCCもこもこ香里園教室

公表日 令和8年4月 日

利用児童数 61人

回収数 44

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	42	1		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	41			3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	39	1		4	2Fでエレベーターはないですが、部屋の中ではバリアフリーだと思います。ビルにエレベーターはありますか？	所内にはほぼ段差はなく、支援場所、靴脱ぎ場、スタッフルームなど、用途によってカーペットの色を変えるなど、視覚的にわかりやすい空間づくりに努めています。大変申し訳ございませんが、建物にエレベーターの設置はございません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	43	1			分かりやすく説明して下さっている子どもの姿が全て教室で出されているわけではないと思うのでどちらともいえない。	限られた時間の中で、お子さまにとっての最善の経験につながるよう心がけて参ります。教室以外の場面でのご心配についても、随時ご相談を承っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43		1			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	43			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	39	1		4		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	6	5	21		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	44					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42			2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	2		5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	42			2	細やかな配慮・連絡をいただき親と同じ理解に感謝しています。	担当制の強みを活かし、お子さまの様子にも気を配り、気付きを共有して参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43	1			じっくり時間をとってもらっています。	相談内容に制限を設けず、様々なご心配のご相談を承っております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44				先生方から共感や寄り添うことの大切さを学ばせてもらっています。	お子さまと保護者さまにとってより安心できる環境づくりのためにも、共に学べれば幸いです。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	3	3	15		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	1		6	いつでも話を聞いてもらえてとても貴重なアドバイスをいただいています。	お子さまの成長に合わせて、今後も必要な情報の提供に努め、一緒に善後策を検討できればと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	40	1	1	2		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	43			1			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37	1	5	新しい場所に転移されてからのマニュアルは周知されていない気がします。災害時の避難場所も前と一緒にいいのかな？	ご心配をお掛けして申し訳ございません。災害時避難場所は市のハザードマップ記載内容に準じており、場所も同様ではございますが、より実情に即した災害時対応が取れるよう、マニュアルの見直しを図り、利用者さま皆さまへの周知を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34		10		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	42		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	33		11		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	43		1	交通量が多く駐輪スペースがない心の拠り所・大切な居場所となって安心しています。	駐輪場所が限られる中、公共の往来に支障がないよう、皆さまにご協力を頂いておりますこと、感謝申し上げます。ご利用者さま皆さまにとっての安心できる居場所であり続けられるよう、スタッフ一同誠意を持って支援に努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	39	5			
	29	事業所の支援に満足していますか。	44				